

# NPO法人KYOふるさと加佐

代表者	弓削 寿
所在地	〒624-0118 京都府舞鶴市字西方寺 285 番地
設立年月日	2005年5月11日
URL	http://www.uenoke.com/

## 【設立趣旨】

加佐地域の西方寺地区に、江戸時代後期から田辺藩で大庄屋を務めた上野家があります。大庄屋は、年貢米や使役、村の祭事、喧嘩の仲裁など、村人のくらしを守り、支えるとともに、地域生活文化の中心的存在でした。しかし、近年、「上野家」の家屋が老朽化し、取り潰されるという話があり、これを契機として地元の皆さんによる「上野家住宅」の保存運動が展開されました。その後、加佐地域から市に対して、「上野家住宅」の保存再生が要望され、加佐地域の交流拠点施設として保存再生されることとなりました。このように、地域の歴史や文化・伝統を大切にしたいという皆さんの熱い想いが一つになり、さらなるむらづくりを進めることは、地域の活性化を進める上で、大きな力となります。今、人々の価値観が多様化し、都市住民が農村において、自然や人々の豊かさに触れ、心を癒す時代となっています。しかし、一方で、農山村では、過疎化高齢化が進み、地域経済をはじめ、これまで地域が培ってきた伝統や文化さえもうしなつつあります。ここ加佐地域においても、高齢化率40%に迫る急激な少子高齢化と過疎化が進み、地域の存続に対する危機感が強まっています。このような状況の中で、私たちは、先人が残してくれた加佐のやさしく豊かな自然や文化、歴史などの地域資源を再認識し、活用することにより、都市と農村の交流や世代間を越えた交流を行い、自然との共生と地域の保全を図りながら、次の世代に引き継ぐむらづくりを行っていきたく考えています。また、加佐地域の有する資源を活用しながら、地域の皆さんが協力し、特産品や新しい商品の開発を行う「コミュニティビジネス」を起こし、少しでも地域が豊かになり、いきいきと安心して暮らせるよう、また、地域の外から来られる皆さんにも、加佐の良さを理解していただくよう努力していきたいと考えています。私たちの活動は、地域の大切な歴史を残したいという熱い想いから始まっています。私たちは、この熱い思いを忘れず、加佐に住み、地域を担う皆さんと、これまで加佐に縁のある多くの方々のご支援と協力をいただきながら、神崎・八雲・岡田の地域が一つになって、この地域が日本一住みやすく、他の地域の人が住みたい、行ってみたい日本のふるさととなるよう【KYO・ふるさと加佐】を設立いたします。



建物 外観



田舎料理



地元産コシヒカリを使った米粉パン

## 【沿革】

加佐地区は舞鶴市の西部、由良川下流沿いに広がる農村地帯で、昭和30年4月に八雲、神崎、岡田上、岡田中、岡田下の5ヶ村が合併して加佐町として発足し、昭和32年5月に舞鶴市に編入・合併され現在に至っている。面積は市の約31%を占めているが、そのほとんどが山で覆われている。また人口は市全体の5.2%（平成19年10月1日現在、4,743人）にしか過ぎず、昭和30年代前半から比べると約半数となっている。同地区は、一級河川である由良川を中心として発展してきたが、経営耕地が狭小なため、養蚕の盛んなころは由良川流域で桑園を営んでいたが、養蚕が衰退した後は多様な作物の導入を図り複合的な経営を行ってきた。同地区の農家数は、舞鶴市全体の31.2%（平成17年2月現在：793件、専業農家については54.8%：136件）を占めているが、農業従事者の減少により、若年人口の流出、少子高齢化、福祉・医療、教育環境への不安などの問題を抱えている。

## 【活動目的】

先人が残してくれた加佐地域の豊かな自然や文化、歴史などの地域資源を活かし、

地域住民の智慧を結集させることにより、新たな交流の場の創出や地域産業の活性化など住民が安心して暮らせるむらづくりを行うことを目的とする。

## 【活動内容】

- ふるさとの味・食の提供に関する事業
- ・農家レストランでふるさとの味（田舎料理など）提供
- 地域の農産物加工品の開発等に関する事業
- ・加佐5地区における特産品づくり（お米パン・ピーナッツ煎餅・みかんジャム・奈良漬・舞鶴茶等）
- ・地域の旬の生鮮野菜・卵等の委託販売
- 農業・農村・自然体験（都市と農村の交流・世代間交流）等に関する事業
- ・そば打ち体験・いちご狩り体験
- 地域の歴史・伝統文化の伝承及び再生に関する事業
- ・上野家の景観保全・庭園再生作業の実施（草刈り、剪定、地域ボランティアの募集）
- ・庭園を利用した催し（茶会など）ふるさとの味・食の提供に関する事業
- 生活支援サービスの開発等に関する事業



庭園の清掃ボランティアの様子



母屋で開催されたお茶会の様子

## 【活動上の課題と今後の展望】

江戸時代から約170年間地域に息づいてきた茅葺の大庄屋敷である上野家住宅。老朽化のため取り壊しの話も出たが、地元住民の熱心な保存運動が湧き上がり、市との協議の結果、貴重な歴史遺産を保存することとなり、地域の交流拠点施設として再生され、現在、地元住民によるNPO法人を立ち上げ、施設の指定管理者となって、活動をおこなっているところである。

そのような中、平成18年度に、庭園について、京都府の指定文化財となり、地域住民やボランティアの人々の手を借りて維持管理を行ってきた。

しかし、管理を行っていくには、地域住民の手だけでは、専門的な知識に欠け、今後、恒久的に文化財として保存していくには、大変厳しい状況にある。

そこで、今回、庭園の整備について、大学等からの専門的な知識を得ることで、自らの手で恒久的に保存していけるような活動を実施していく。なお、募集案内については、地域住民のみならず、周辺地域の人々にも声をかけ、その知識を共有するとともに、庭園を通じた交流の輪を広げていく。

## 【活動実績】

- 4月の蔵展 海上保安庁船の模型展
- 4月3・4・5・6日 バスツアー来客
- 4月19日 甘なつの販売開始
- 4月26日 上野家庭園清掃活動
- 溝尻の海見勝治さんの海上保安庁の船の模型展を開催。
- 大阪より吉田のしだれ桜ツアーの皆さんが来館。
- 地元で取れた甘なつの販売を開始しました。
- GWを前にみんなで蔵や庭園の清掃作業を実施しました。
- 5月の蔵展 「幻想の世界」 墨絵展
- 5月25日 田辺城祭りに参加
- 富室の富樫鉄義さんの幻想的な墨絵展を開催。
- 田辺城祭りに参加し、お米パンを販売しました。
- 6月の蔵展 「ふるさとの切り絵紀行」 舞鶴編女展
- 6月 8日 岡田中祭り開催
- 6月14日 JA さなぼり祭り
- 6月22日 上野家庭園清掃活動
- 6月23日 JR 東海エージェンシーの取材
- 6月28日 赤岩登山自然観察会
- 京都新聞でお馴染みの達富弘さんと陸さんのきり絵展を開催。
- お米パンの販売とともに、上野家でもお茶席を設けたり、「ご飯かけたまご」のテスト販売を行いました。
- お米パンを販売しました。
- 上野家の庭園整備を実施
- 関東で放映される番組のテレビロケにいられました。
- 食事を楽しまれるとともに、地元産の新鮮野菜やお米パンも大好評。
- 7月の蔵展 「アートフラワー作品展」
- 7月1日～7日 セタまつり開催
- 7月6日 ふるさと再発見 神崎の地引網と塩作り体験
- 下東の村上さんの小さな花や古布を使った作品展を開催しました。
- 保育園児20名が、短冊に願いを込めて飾りました。
- 加佐の特産品販売コーナーでお米パンを販売しました。
- 8月の蔵展 「第2回小さな展覧会」
- 8月 3日 清掃ボランティアを実施
- 8月10日 川船レース開催
- 8月23日 「結の里・柳川」視察研修
- 岡田保育園園児たちの力強い作品と子供たちに絵画指導をされている渡辺淳先生の作品も飾られました。
- 毎年恒例の清掃ボランティアを実施し、庭園や裏山の草刈等の清掃を実施しました。
- お米パンを出店しました。
- 滋賀県高島市より、視察研修にいられました。
- 9月の蔵展 「加佐の写真展」
- 9月13日 加佐の匠・歴史案内人養成講座 「近代の加佐」～大庄屋上野家の建築を中心に～
- 9月16日 岡田中運動会
- 志高の河田長友さんによる加佐に咲く草花の写真展を開催。
- 約35名が参加し、京都工芸繊維大学の日向教授の上野家の建物を中心とした話を聞きました。
- お米パンを販売しました。
- 10月の蔵展 木版画作品展
- 10月5日 上野家周辺水仙植樹
- 10月7日 上野家庭園ボランティア
- 10月18・19日 赤レンガアート&クラフト フェスタに出店
- 木版画クラブの会長の岩見英一郎さんの初の作品展を開催。
- 西方寺のボランティアの方々で庭園環境整備の一環で、上野家周辺に花壇を作って水仙を植えていただきました。
- 岡田中老人会のみなさんに庭園清掃をお世話になりました。
- パンを出店したところ、大人気。
- 11月の蔵展 「故郷の挿絵・原画展」
- 11月2・3日 パッチワークキルト展開催
- 11月22日 京都府地域力再生事業 「日本庭園の楽しみ方」開催
- 11月16日 第25回加佐一周駅伝開催
- 京都新聞に掲載された水上勉先生の小説の挿絵を描かれた渡辺淳さんの原画展を開催。
- 大好評だったキッチンギルターのパッチワーク展、美味しいケーキやコーヒーなどでおもてなし。
- 庭園整備でお世話になっている京都造形芸術大学の仲先生による庭園の楽しみ方や手入れの仕方を学びました。
- 今年が最後の駅伝大会となりましたが、みんな一生懸命走りました。
- 12月の蔵展 「昔懐かしい手作り和風」作品展
- 12月7日 第24回ふれあいサンデー開催
- 綾部市の梅原隆さんの作品が「沢山展示」されました。
- 土産でのお米パンを販売しました。
- 1月の蔵展 「岡田上小学校から原画展」
- 岡田上小学校の児童が、自分たちの住む地域をテーマに作ったカルタの原画展を開催。
- 2月の蔵展 「夫婦二人展」
- 2月14日 バレンタインデータルトの販売
- 綾部市株ご夫婦による風景写真や陶芸作品、水彩画やパッチワークなどの作品が飾られました。
- バレンタインデーのために特別にタルトを焼きました。
- 3月の蔵展 3人展
- 3月5日 海軍カレーの販売開始
- 3月10日 新酒「彌一郎」の販売記者プレス
- 3月14日 新「彌一郎」販売開始
- 3月20日 山菜てんぷらうどん・西方寺平の卵かけご飯の販売開始
- ミニ着物、和紙人形、絵画と3人3様の作品を展示していただきました。
- 舞鶴の特産品として東郷平八郎ゆかりの海軍カレーの販売を始めました。
- 新酒「彌一郎」とお米パンのPR
- 今年は、720ml瓶も登場。すっきりとした辛口に仕上がりました。
- 予約なしでも、気軽に上野家でお食事が楽しめるようになりました。